

平成21年度  
生物多様性  
モデル事業

事業名：ふゆみず田んぼ&不耕起栽培による・生きものいっぱいの市民水田立ち上げ事業  
団体名：特定非営利活動法人 NPOホテル野

## ☆ 目的

ハイケボタルの幼虫を放流しているホテル野田んぼのコメづくりに不耕起栽培を採用し、市民水田方式を導入することによって、安全・安心なおコメの収穫とホテルの乱舞をスケール大きく同時達成する。

## ☆ 内容

- ◎ ハイケボタルの幼虫飼育・放流（1000-2000匹、毎年5月5日）
- ◎ ホテル鑑賞会の開催（毎年7月最終土・日曜日）
- ◎ ハイケボタル生息地確保・資金づくりのための無農薬、除草剤を使わないコメづくり（黒米とコシヒカリ。毎年、25a）
- ◎ 子育てボランティア、小学校へのホテル出前講座など子供への自然教育
- ◎ ゲンジボタル復活へ飼育幼虫とカワコナ放流とを併せた復活・再生活動
- ◎ 流山市内10ヶ所でのホテル飛翔調査

## ☆ 今後

- ◎ 「生きものいっぱいの稲作」（ふゆみず田んぼ&不耕起栽培）により2009年はハイケボタルの飛翔数が3倍以上に増えたが、これが再現されるか確かめる。
- ◎ 東京大学大学院・山路永司教授（柏の葉キャンパス）が研究テーマにしている多収穫コメづくり（SRI農法）をホテル野田んぼで試み、市民水田の基盤とするとともに、ホテルの生育環境をさらに豊かにする。
- ◎ 流山市内でのゲンジボタル復活に引き続き務める。
- ◎ 「聞き書き ホテルと自然ながれやま今昔」出版のため、取材を継続する。



市民による田植えの様子（左2枚）



田んぼに飛んできたチョウゲンボウ

## ☆ 団体概要

東京都心から電車でもクルマでも最短でわずか30分の流山市は、市をあげて「水と緑の都市」を標榜している。このような自然環境を生かして、生息地確保のため無農薬で除草剤を使わないコメづくりをしながら、ハイケボタルの幼虫飼育・放流による増殖と、絶滅したゲンジボタルの復活・再生に取り組んでいる。

## ☆ 主な活動

- ◎ 子育てボランティアの実施＝毎年10月に卵から孵ったばかりのハイケボタルの幼虫を配布、翌年5月5日の放流まで小学生らに飼育してもらう（2008年は最高の68組）。
- ◎ ホテル野講演会2008「生きものいっぱいの稲作」（講師：ふゆみず田んぼ&不耕起栽培農法を開発した岩澤信夫氏）は観客数が118人。入場をお断りする人気を集めた。
- ◎ コカ・コーラ環境教育賞主催者賞を受賞（2008年）
- ◎ 市民水田開始（1区画15坪/10区画）が“即日完売”（2009年）
- ◎ 「ながれやま生物多様性シンポジウム」で会員が発表（2009年）



## ☆ 問い合わせ

住所：〒270-0117 流山市北134-118  
電話：04-7154-2790 代表者：田畑 裕秋  
Mail：h-tabata@mx7.ttcn.ne.jp  
URL：<http://ynkoubou.web.infoseek.co.jp/>

